

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランアッシュ山科御陵 新築工事	階数	地上6F
建設地	京都市山科区日ノ岡鴨土町25-8, 御陵鴨戸町60-11	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2018年12月3日
敷地面積	2,191.91 m ²	作成者	Toki.Design株式会社 石川愛樹
建築面積	1,148.82 m ²	確認日	2018年12月3日
延床面積	4,878.68 m ²	確認者	株式会社TOKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 71%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 特になし。		特になし。
Q1 室内環境 T-2以上の遮音性能の建具を使用。 開口を大きくし昼光率を高めた。 カーテンレールと、庇を採用し、グレア対策に対応。 ほぼ全体にJIS規格F☆☆☆☆の建材を使用。	Q2 サービス性能 光ファイバー通信を採用。 敷地内の建物の周りに緑化を行い見ることが可能。 ゴミ置き場に防水モルタルを使用。 配管に架橋ポリエチレン管、石綿二層管、硬質塩化ビニル管を使用。	Q3 室外環境(敷地内) エントランス部分に集会所を設置。
LR1 エネルギー [BEI][BEIm]=0.90を達成。	LR2 資源・マテリアル 節水便器(大4.8L/小3.6L)を使用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 概算値69%を達成。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される